

プログラム

【会長講演】

11月5日（金） 10時00分～11時00分（第1会場 2F 大ホール）

座長：井原 康夫（同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科 神経病理学）

アルツハイマー病の制圧をめざして

独立行政法人 国立長寿医療研究センター 柳澤 勝彦

【特別講演】

11月5日（金） 11時00分～12時00分（第1会場 2F 大ホール）

座長：森 啓（大阪市立大学 医学部 老年医学研究部門 脳神経系分野）

神経回路の可塑性と記憶

理化学研究所 脳科学総合研究センター 津本 忠治

【教育講演】

教育講演 1.

11月6日（土） 9時00分～9時55分（第2会場 5F 小ホール1）

座長：新井 哲明（筑波大学 臨床医学系 精神医学教室）

前頭側頭葉変性症の神経病理

愛知医科大学 加齢医科学研究所 吉田 真理

教育講演 2.

11月6日（土） 9時00分～9時55分（第3会場 5F 小ホール2）

座長：水澤 英洋（東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経病態学分野）

記憶障害の神経学

東北大学大学院 医学系研究科 高次機能障害学 森 悦朗

【シンポジウム】

シンポジウム 1 「血管性認知症のニューホライズン」

11月5日（金） 13時30分～16時00分（第1会場 2F 大ホール）

座長：富本 秀和（三重大学大学院 医学研究科 神経感覚医学講座 神経病態内科学）

長田 乾（秋田県立脳血管研究センター 神経内科学研究部）

1. 血管性認知症の診断基準と問題点

住友病院 神経内科 宇高不可思

2. 血管性認知症の neuroimaging

東京医科大学 老年病科 羽生 春夫

3. 遺伝性血管性認知症

新潟大学 脳研究所 分子神経疾患資源解析 小野寺 理

4. 血管性認知症の実験モデル

独立行政法人 国立長寿医療研究センター 加齢健康脳科学研究部 脇田 英明

5. 混合型認知症の位置づけ, Vascular cognitive impairment (VCI)

京都大学 医学研究科 臨床神経学 猪原 匡史

京都大学 医学研究科 臨床神経学 岡本 洋子

京都大学 医学研究科 臨床神経学 高橋 良輔

三重大学 医学系研究科 神経病態内科学 富本 秀和

(概要) 血管性認知症の診断基準は NINDS-AIREN, DSM-IV などを中心に、いくつかの基準が用いられている。しかし、同一患者を当てはめた場合の相互の診断一致率は半分程度で、その感度、特異度に問題がある。現在の診断基準それぞれの特徴と問題点、特に NINDS-AIREN 基準のなかの「small vessel disease にともなう認知症」と皮質下血管性認知症の位置づけ、血管性軽度認知障害 (v-MCI)・VCI-ND の概念、診断基準の感度・特異度を向上させるために必要な情報は何か、などについて概説する。

シンポジウム 2 「EBM に基いた認知症予防」

11月5日(金) 13時30分～16時00分(第2会場 5F 小ホール1)

座長: 中島 健二 (鳥取大学 医学部 脳神経内科)

朝田 隆 (筑波大学大学院 人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻)

1. 高血圧治療と認知症予防

東北大学 加齢医学研究所 脳科学研究部門 老年医学分野 荒井 啓行

2. 食事栄養と認知症予防

自治医科大学附属さいたま医療センター 神経内科 植木 彰

3. 運動と認知症予防

筑波大学 臨床医学系 精神医学 朝田 隆

4. 認知症予防 - 地域における生活支援の活動と医療連携の重要性

東北大学 大学院医学系研究科 高齢者高次脳医学 目黒 謙一

5. 複合的認知症予防プログラム

福岡大学 医学部 神経内科 山田 達夫

(概要) 認知症の予防に関しては、厳密なランダム化比較試験が困難であったりするためエビデンスレベルの高い報告が少なかったが、最近検討が進みつつある。本シンポジウムでは、昨年の本学会学術集会におけるシンポジウムで討議された高血圧治療に関するその後の展開や、食事栄養、運動、社会参加、認知リハ・認知刺激療法などの認知症予防に関する研究成果に関して、自施設での成績を含めて最近の報告をレビューして頂き、認知症予防に関する現段階でのエビデンスと共に今後の展望を示して頂く予定である。

シンポジウム 3 「神経変性症としての前頭側頭葉変性症：症候から分子病態解明の新展開まで」

11月5日（金） 13時30分～16時00分（第3会場 5F 小ホール2）

座長：松原 悦朗（弘前大学大学院 医学研究科 附属脳神経血管病態研究施設 脳神経内科講座）

秋山 治彦（東京都精神医学総合研究所 老年期精神疾患部門）

1. 前頭側頭葉変性症（FTLD）の症候と臨床概念

熊本大学大学院 生命科学研究部 脳機能病態学分野 池田 学

2. 前頭側頭葉変性症の分子病理

筑波大学大学院 人間総合科学研究科 精神病態医学分野 新井 哲明

東京都精神医学総合研究所 分子神経生物学研究チーム 長谷川成人

東京都精神医学総合研究所 老年期精神疾患研究チーム 秋山 治彦

筑波大学大学院 人間総合科学研究科 精神病態医学分野 朝田 隆

3. ショウジョウバエモデルを用いた TDP-43 プロテインパチーの病態解析

国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第四部 永井 義隆

4. RNA 結合タンパク質の機能と疾患へのかかわり

名古屋大学 医学系研究科 神経遺伝情報学 大野 欽司

名古屋大学 医学系研究科 神経遺伝情報学 増田 彰男

5. 変性疾患モデルとしての iPS 細胞

京都大学 iPS 細胞研究所 臨床応用研究部門，独立行政法人科学技術振興機構，CREST 井上 治久

（概要）本学会では基礎・臨床の研究者が協力して“認知症”関連疾患の脳病態解明を進めてきました。最近、前頭側頭葉変性症の脳病態解析から、プロテインパチーをキーワードとして筋萎縮性側索硬化症と共通する発病の分子基盤が明らかとなりつつあります。本シンポジウムでは、神経変性症としての前頭側頭葉変性症についてその症候から分子病態解明の新展開までそれぞれの領域の専門家に紹介していただき、運動疾患・認知症疾患という枠を超えて神経変性疾患研究に切り込むための糸口としたいと考えます。

シンポジウム 4 「認知症診断における神経画像の意義」

11月6日（土） 10時00分～12時00分（第1会場 2F 大ホール）

座長：福山 秀直（京都大学大学院 医学研究科 附属高次脳機能総合研究センター）

伊藤 健吾（独立行政法人国立長寿医療研究センター研究所 長寿脳科学研究部）

1. VSRAD の使い方

埼玉医科大学 国際医療センター 核医学科 松田 博史

2. MIBG 心筋シンチグラフィの臨床的意義

関東中央病院 神経内科 織茂 智之

3. 心理検査と SPECT

国立長寿医療研究センター 脳機能診療部 鷺見 幸彦

4. 地域検診における画像診断

筑波大学 大学院 人間総合科学研究科 精神病態医学 根本 清貴

筑波大学 大学院 人間総合科学研究科 精神病態医学 朝田 隆

5. メモリークリニックから希望する画像診断

医療法人 藤本クリニック 藤本 直規

(概要) 認知症の診断に画像診断が重要であることは広く認識されているが、近年、いくつかの大規模研究も含め、さまざまなアプローチがなされており、その結果が待たれる。画像診断は、認知症の早期診断以外に、除外診断、鑑別診断に有用でその意義がいろいろ議論されており、今後の日常臨床では、大規模研究のデータをもとに、さまざまな補助診断法としての利用が重要であると思われる。非侵襲的検査法が進歩した今日、有効な画像診断の利用法について考えてみたい。

シンポジウム 5 「認知症の阻止を狙った治療薬開発研究」

11月6日(土) 10時00分～12時00分(第2会場 5F 小ホール1)

座長：高島 明彦(独立行政法人理化学研究所 脳科学総合研究センター アルツハイマー病研究チーム)

富田 泰輔(東京大学薬学部 臨床薬学教室)

1. Aβ凝集機構解明から予防・治療薬開発へ

金沢大学大学院 脳老化・神経病態学(神経内科) 小野賢二郎

2. 細胞内異常タンパク質の蓄積機構とその制御

東京都精神医学総合研究所 分子神経生物学研究チーム 野中 隆

3. タウ蛋白を標的とした認知症治療戦略の有効性

Mayo Clinic 佐原 成彦

4. ポリグルタミン病における凝集毒性概念の変遷と治療

東京医科歯科大学 難治疾患研究所 神経病理学分野, 科学技術振興機構, CREST 岡澤 均

(概要) 認知症発症機構においては神経細胞内外の蛋白異常凝集との関連が指摘され、その機構を標的とした治療薬開発研究が進められている。しかし、こういった病態とシナプス、神経変性の関係を明らかにして初めて真の治療薬開発につながると考えられる。本シンポジウムにおいては、各異常凝集蛋白について、最新の動向と研究成果をご紹介いただき、最終的にどのようなストラテジーによって認知症の根本治療薬開発に至ることが出来るのか、御議論頂きたいと思う。

シンポジウム 6 「Patient-centred dementia medicine: 生活障害を診て、家族に関わり、能力を引き出す医療」

11月6日(土) 10時00分～12時00分(第3会場 5F 小ホール2)

座長：山口 晴保(群馬大学医学部 保健学科)

武田 雅俊(大阪大学大学院 医学研究科 プロセッシング異常疾患分野)

1. Patient-centred dementia medicine

岩手医科大学 医学部 内科学講座(神経内科・老年科分野) 高橋 智

2. 認知症ケアマッピングと認知症専門医が関わる地域連携

医療法人 久生会 いきいきクリニック 理事長, 医療法人 大誠会社, 会福祉法人 久仁会 田中 志子

3. 認知症の人の底力を地域に活かす

ウエルネス医療クリニック, 社会福祉法人 自立共生会 多湖 光宗

4. 認知症を生きる人と家族への対応

エスポアール出雲クリニック 高橋 幸男

(概要) 研究のための医療やマニュアルに則った画一的な医療から、一人ひとりに対応したテーラーメイド医療へのパラダイムシフトを提言する。脳画像ではなくその人の生活状況を診て、残存能力を評価し、褒めて能力を発揮させ、介護家族の心理教育で関係を調整してBPSDを予防し、介護保険など地域でのサービス情報を提供し、本人と家族のQOLを高める実践医療が求められる。「診断して終わりではなく、診断後その人の人生にどう関わるか」をテーマに、新たな取り組みを紹介したい。

シンポジウム 7 「 γ セクレターゼ研究と $A\beta$ 産生を標的とした薬剤開発の現状」

11月6日(土) 14時30分~17時00分(第2会場 5F 小ホール1)

座長: 大河内 正康(大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学教室)

鈴木 利治(北海道大学大学院薬学部 薬学研究院 創薬科学生体機能科学神経科学教室)

1. 治療標的としての γ セクレターゼ—細胞内因性活性制御機構—
滋賀医科大学 分子神経科学研究センター 西村 正樹
2. APPおよびAPPの γ セクレターゼ代謝産物の機能
北海道大学大学院薬学研究院・神経科学 鈴木 利治
3. γ セクレターゼによる膜内切断機構—トリペプチドの放出と $A\beta$ 産生—
同志社大学 生命医科学部 神経病理学 舟本 聡
4. $A\beta$ 様ペプチドの分泌から見えること— $A\beta$ 産生過程の発症への関与の可能性—
大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学教室 大河内正康
5. $A\beta$ を標的とした治療薬の開発現状
アステラス製薬株式会社 製品戦略部 岩井 晃彦

(概要) 集積・蓄積性をもったAs42の特殊な性質がアルツハイマーの発症に関連する可能性が言われるようになって久しい。アルツハイマー病の分子病理解明研究の結果、それらの関連分子や経路を標的とした薬剤開発が世界中で活発に行われているが、今のところ分子創薬の成果としての抗アルツハイマー病薬は上市されていない。では現在その開発はどこまで進んでいるのか? 一体、どのような薬剤が検討されているのか? それらにはどの程度の上りの可能性があるのか? このシンポジウムでは、まず、各分野のエキスパートの先生にその基礎から分かりやすく事実を整理して頂き、その分野の新規薬剤開発戦略を概説して頂く。そして、最後に現在進行中の薬剤開発の進捗状況について個々の例をあげて詳しく解説して頂きます。

シンポジウム 8 「Dementia with Lewy Bodies (DLB) : Discovery & Update」

11月7日(日) 9時00分~11時30分(第1会場 2F 大ホール)

座長: 山田 正仁(金沢大学大学院 脳老化・神経病態学(神経内科学))

小阪 憲司(横浜ほうゆう病院)

1. レビー小体型認知症の発見とこれまで
横浜ほうゆう病院 小阪 憲司
2. DLBの病変形成過程
国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部 齊藤 祐子
東京都健康長寿医療センター 高齢者ブレインバンク 村山 繁雄
3. DLBの臨床症候学とその病態生理
滋賀県立成人病センター 老年内科 長濱 康弘

4. DLB の検査と診断

金沢大学附属病院 吉田 光宏

5. DLB の治療戦略—中核症状から BPSD まで—

藤田保健衛生大学病院 一般内科 眞鍋 雄太

(概要) DLB は Alzheimer 病に次いで多い認知症であり, Parkinson 病や自律神経不全ばかりでなく, うつ病や睡眠障害等との密接な関連が注目されている. 本総会は DLB 発見の地, 名古屋で開催される. 最初に, (1) DLB 発見者である小阪先生から発見の経緯についてお話いただき, さらに, (2) DLB の病変形成過程 (Lewy 小体の形成過程と DLB/Lewy 小体病の病変進展形式), (3) 症候学とその基盤となる病態生理, (4) 診断に有用な検査と診断, (5) 多彩な精神神経症状の治療・マネジメントについて, 最新情報を各シンポジストが呈示し討論する.

【ワークショップ】

4 大認知症 (AD, FTLN, Lewy, VD) の BPSD と対応

11 月 6 日 (土) 14 時 30 分~17 時 00 分 (第 1 会場 2F 大ホール)

座長: 池田 学 (熊本大学大学院 医学薬学研究部 脳機能病態学分野)

谷向 知 (愛媛大学大学院 医学系研究科 脳とこころの医学)

1. AD の BPSD と対応

新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 保健学専攻 言語聴覚学分野 今村 徹

2. レビー小体型認知症の BPSD

熊本大学 医学部 神経精神科 橋本 衛

熊本大学 医学部 神経精神科 池田 学

3. 前頭側頭葉変性症の BPSD の特徴と対応

愛媛大学大学院医学系研究科 脳とこころの医学 谷向 知

愛媛大学大学院医学系研究科 脳とこころの医学 榎林 哲雄

財団新居浜病院 坂根 真弓

愛媛大学大学院医学系研究科 脳とこころの医学 清水 秀明

愛媛大学大学院医学系研究科 脳とこころの医学 福原 竜治

愛媛大学大学院医学系研究科 脳とこころの医学 小森憲次郎

4. Subcortical ischemic vascular dementia (SIVD) における行動異常

東北大学 医学系研究科 高次機能障害学 西尾 慶之

東北大学 医学系研究科 高次機能障害学 森 悦朗

(概要) BPSD は本人だけでなく介護者の負担を増大させ, 両者の QOL を損なう大きな要因である. 認知症を正確に診断するとともに, その特徴を理解した上で BPSD への対応を適切に行うことは認知症臨床において最も重要な課題の一つといえる. 本ワークショップでは, アルツハイマー病, レビー小体型認知症, 前頭側頭葉変性症, 血管性認知症でみられる BPSD の特徴とその対応について検討してみたい.

【ポスター討論】

11月5日(金) 16:00~17:50 (ポスター会場 7F 展示場)

11月6日(土) 17:00~18:00 (ポスター会場 7F 展示場)

臨床系

<アルツハイマー病 (臨床症状)>

01-01 アルツハイマー病のアパシーに対する塩酸ドネペジルの効果

島根大学 神経内科 小黒 浩明

01-02 山口キツネ・ハト模倣テスト (YFPIT) の多施設共同研究~Alzheimer 病を簡便にスクリーニングする方法の開発

群馬大学 医学部 保健学科 山口 晴保

01-03 遺伝性プリオン病 (GSS P105L) 類似の臨床症状を呈した家族性アルツハイマー病 (PSEN1 : I143T) の臨床像

東京医科歯科大学大学院 脳神経病態学 (神経内科) 三條 伸夫

01-04 もの盗られ妄想の実際

滋賀県立成人病センター 老年内科 翁 朋子

<アルツハイマー病 (予防, 治療)>

02-01 ヒト化抗アミロイドβモノクローナル抗体 Solanezumab を日本人の軽度又は中等度アルツハイマー型認知症患者に投与した際の安全性及び忍容性並びに薬物動態に関する検討

日本イーライリリー 臨床開発・医学科学本部 後藤 太郎

02-02 認知症患者のBPSDに対する抑肝散長期投与の疫学的調査

けいめい記念病院 岡原 一徳

02-03 塩酸ドネペジル少量投与を用いたアルツハイマー型認知症の治療に関する全国調査

独立行政法人 国立長寿医療研究センター 脳機能診療科 新畑 豊

02-04 血液透析患者と非透析腎不全患者の血中 Amyloid Beta-Protein (Aβ) 除去の検討

藤田保健衛生大学 医療科学部 臨床工学科 川口 和紀

02-05 軽度アルツハイマー病に対する絵画療法の有効性の検討

独立行政法人 国立長寿医療研究センター 服部 英幸

02-06 アルツハイマー型認知症患者におけるIVIg療法施行後の認知機能変化

京都府立医科大学 神経内科 近藤 正樹

02-07 塩酸ドネペジル中止と処方変更により症状が改善した, アルツハイマー型認知症と診断された高齢者の数例

ストレスクリニックウイング 川口 哲

<アルツハイマー病 (画像)>

03-01 Mini-mental status examination 24 点以上症例の長期経過観察—FDG-PET 上 AD パターンと正常パターンの相違—

甲府脳神経外科病院 PET センター 宮沢 伸彦

03-02 BF227-PET 画像で捉えた Aβ 集積と VBM-MRI 解析による脳萎縮との関連についての検討

愛知淑徳大学健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 前野 信久

- 03-03 [¹¹C] PIB PET による脳内アミロイド沈着の経時的変化の測定
放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター 篠遠 仁
- 03-04 aMCI と AD の海馬における myo-inositol と記憶検査 (WMS-R) との相関
宇治武田病院 神経内科 渡辺 俊之
- 03-05 アルツハイマー病, 軽度認知機能障害患者, および健常者における内側側頭部構造の容積測定; J-ADNI 研究
埼玉医科大学 国際医療センター 核医学科 松田 博史
- 03-06 18F 標識アミロイドイメージング用 PET プローブ FACT の臨床評価
東北大学 大学院医学系研究科 機能薬理学分野 岡村 信行
- 03-07 Different amyloid deposits in monozygotic twins discordant for Alzheimer's disease
浜松医科大学分子イメージング 八木 俊輔
- 03-08 初診時 SPECT の画像解析による MCI から AD への移行予測
特別医療法人春回会長崎北病院神経内科 富田 逸郎
- 03-09 BF-227 を用いたアミロイド PET と Biofluid バイオマーカー
東北大学 加齢医学研究所 老年医学分野 古川 勝敏
- 03-10 ドネペジル投与によるアルツハイマー病の神経心理検査と局所脳血流の経時的変化—SEE 解析を用いて—
市立函館病院 脳神経外科 丹羽 潤
- 03-11 123I-MIBG 心筋シンチグラフィによる PiB 陰性認知症の鑑別診断の検討
大阪市立大学 医学部 老年内科・神経内科 竹内 潤
- 03-12 脳磁図を用いたアルツハイマー型認知症の電気生理学的マーカーの検討
国立長寿医療研究センター 認知症先進医療開発センター 脳機能画像診断開発部 中村 昭範
- 03-13 脳 CT 画像を用いた VBM による Alzheimer 病診断の可能性について
埼玉医科大学 国際医療センター 核医学科 今林 悦子
- 03-14 アルツハイマー病脳の ¹¹C-PIB PET/CT 画像における CT 画像単独での部分容積補正 (萎縮補正) の効果についての検討
埼玉医科大学 国際医療センター 核医学科 島野 靖正
- 03-15 MCI から AD への移行予測指標の探索: FDG-PET を中心とした検討
国立長寿医療研究センター 認知症先進医療開発センター 脳機能画像診断開発部 山田 貴史
- 04-01 脳神経の膜脂質過酸化は構造異常タンパク質の生成を介して神経変性に関与する
独立行政法人長寿医療研究センター 加齢健康脳科学研究部 丸山和佳子
- 04-02 後部帯状回と楔前部におけるアミロイドβ沈着
東京都健康長寿医療センター 神経病理・高齢者ブレインバンク 初田 裕幸
- 04-03 皮質微小梗塞の形成に脳アミロイド血管症が関与する
京都大学 医学部 神経内科 岡本 洋子
- 04-04 RD3/RD4 抗体による二重染色法の試み
東京都神経研 神経学 内原 俊記
- <アルツハイマー病 (バイオマーカー)>
- 05-01 認知症患者におけるテロメア長の脳血流に及ぼす影響
東京医科大学 老年病学教室 清水聡一郎

- 05-02 アルツハイマー病に対する [11C]-PIB PET によるアミロイド蛋白蓄積の自然経過
湘南厚木病院 畑下 鎮男
- 05-03 MCI および AD 脳では γ -secretase 活性は変化している?!
株式会社 免疫生物研究所 角田 伸人
- 05-04 脳脊髄液中のアミロイド β , 総タウ, リン酸化タウ測定条件の検討
バイオテクノロジー開発技術研究組合 月江 珠緒
- 05-05 アルツハイマー病患者における髄液, 血液, 尿中 Alcadin 断片測定の検討
医療法人さわらび会福祉村病院長寿医学研究所 赤津 裕康
- 05-06 末梢血中の amyloid beta42 のサロゲートマーカー開発について
大阪大学 田上 真次
- 05-07 アルツハイマー病と MCI における血清トランスサイレチン多量体の解析
筑波大学 産学リエゾン共同研究センター 石井 俊
- 05-08 アルツハイマー病患者・髄液中では可溶性 LR11 が増加する
新潟大学 脳研究所 生命リソース 池内 健
- 05-09 アルツハイマー病における血中 Alcadin 代謝産物測定の有用性
愛媛大学大学院 医学系研究科 加齢制御内科学 鴨川 賢二
- 05-10 ヒト髄液中の $A\beta$ オリゴマーを定量する ELISA 系の開発と臨床応用
京都府立医科大学 神経内科 徳田 隆彦
- 05-11 PS1 変異 AD 症例における脳脊髄液リン酸化タウと $A\beta$ アミロイドの検討
群馬大学 医学部 神経内科 池田 将樹
- 05-12 トランスフェリン糖鎖はアルツハイマー型認知症の血液早期診断マーカーとして有効である
鳥取大学 医学部 生体制御学 谷口美也子
- 05-13 日本人における CLU 多型性とアルツハイマー病の遺伝的関連
順天堂大学 医学部 精神医学教室 小松 美和
- <アルツハイマー病 (疫学)>
- 06-01 鳥根県海士町における認知症および健忘型 MCI の疫学調査
鳥取大学 医学部 脳神経内科 和田 健二
- 06-02 福岡県認知症・脳卒中広域ネットワーク構築事業について
九州大学 医学部 神経内科 山下謙一郎
- <アルツハイマー病 (その他)>
- 07-01 Alzheimer 認知症患者における「軽度の認知症チェックリスト」評価と神経心理検査との相関の検討
甲府城南病院 リハビリテーション科 小宮 桂治
- 07-02 FAST (Functional Assessment Staging) をもとに作成した問診表による認知症重症度評価の検討
東京大学 医学部 加齢医学 飯島 勝矢
- <レビー小体型認知症 (臨床症状, 治療)>
- 08-01 アリセプトにより幻視が完全に消失したレビー小体型認知症の 2 症例
総合上飯田第一病院 老年精神科 鶴飼 克行
- 08-02 レビー小体型認知症に対するゾニサミドの有用性に関する検討
横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神医療センター 小田原俊成

- 08-03 初期に抑うつ症状を呈するレビー小体型認知症（DLB）に対する、高炭酸換気応答検査の診断有用性
筑波大学 大学院 人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻 精神病態医学 高橋 晶
- 08-04 レビー小体型認知症の初期症状
滋賀県立成人病センター 老年内科 松田 実
- 08-05 パーキンソン病における幻覚の検討
横浜市立大学附属病院 鈴木 ゆめ
- 08-06 MMSE 高得点を獲得したパーキンソン病患者での MoCA 検査結果の評価
独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター病院 神経内科 塚本 忠
- <レビー小体型認知症（画像，病理，病態）>
- 09-01 DLB 患者における中脳被蓋の萎縮とその特徴
東京医科大学 医学部 金高 秀和
- 09-02 発症様式と機能画像からみた DLB の臨床病型の多様性
昭和大学 横浜市北部病院 内科神経 福井 俊哉
- 09-03 アミロイド沈着は認知症を伴うレヴィ小体病の海馬傍回萎縮を促進する
放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター 分子神経イメージング研究グループ 島田 斉
- 09-04 レビー小体病（DLB, PDD, PD）は、Mini Mental State Exam で評価される認知機能障害の程度に関わらず後頭葉血流低下の特徴を共有する
国家公務員共済組合連合会 立川病院 神経内科 太田 晃一
- 09-05 Distribution of cerebral amyloid deposition and its relevance to clinical phenotype in Lewy body dementia
順天堂東京江東高齢者医療センター 藤城 弘樹
- 09-06 レビー小体型認知症（DLB）の新規バイオマーカー：髄液中 α シヌクレインの ELISA 定量
新潟大学 脳研究所 神経内科 徳武 孝允
- 09-07 神経変性疾患における髄液中 α -Synuclein 測定
東邦大学 医療センター 佐倉病院 内科学 神経内科 榊原 隆次
- 09-08 レビー小体型認知症と認知症を伴うパーキンソン病での画像所見の比較
横浜市立みなと赤十字病院 神経内科 日詰 正樹
- <その他の変性疾患（臨床症状）>
- 10-01 健忘症状で気づかれた FTDP-17 (MAPT) の 1 家系
川崎医科大学 神経内科 久徳 弓子
- 10-02 多系統萎縮症における認知機能に影響を及ぼす因子の検討
新潟大学 脳研究所 神経内科 下畑 享良
- 10-03 うつ病で発症し、徐々に認知機能低下が明らかになり、diffuse neurofibrillary tangles with calcification (DNFC) が疑われた 1 臨床例
横浜南共済病院 西尾 友子
- 10-04 側頭葉限局性萎縮を伴った運動ニューロン疾患の 2 例
熊本大学医学部附属病院 神経精神科 矢田部裕介
- <その他の変性疾患（画像，病理，病態）>
- 11-01 PSP 患者における脳形態・機能画像の比較および MMSE との局所的相関
西播磨リハビリテーションセンター リハビリテーション西播磨病院 高橋 竜一

- 11-02 α シヌクレイノパチー患者の脳脊髄液の α シヌクレイン凝集促進効果
金沢大学 脳老化・神経病態学（神経内科） 廣畑 美枝
- 11-03 紀伊半島の筋萎縮性側索硬化症/パーキンソン認知症複合におけるバイオマーカーの検討 脳脊髄液中リン酸化タウの解析
三重大学 医学部 医学科 中山 由衣
- 11-04 Aquaporin4, Leucin Rich α 2 Glycoprotein 発現にみる Long-standing Overt Ventriculomegaly in Adults 剖検脳に対する免疫組織学的検討
順天堂大学 医学部 脳神経外科学 中島 円
- 11-05 進行性核上性麻痺と大脳皮質基底核変性症における臨床・神経放射線学的検討
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学 倉田 智子
- 11-06 進行性核上性麻痺症例におけるリン酸化 TDP-43 病理, 海馬硬化, 認知機能低下の関心の検討
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 神経病態学 横田 修
- 11-07 Familial British Dementia の中枢神経, 末梢組織並びに脳脊髄液におけるアミロイド分子 N 末端の翻訳後修飾
筑波大学 臨床医学系 神経内科 富所 康志
- 11-08 新規抗うつ薬ミルタザピン (NaSSAD) により歩行障害, 日常生活動作に改善がみられた前頭側頭型認知症の一例
大田市立病院 神経内科 岡田 和悟
- 11-09 健忘と前頭葉機能障害を認め, 石灰沈着を伴うびまん性神経原線維変化病 (Diffuse neurofibrillary tangle with calcification : DNTC) が疑われた症例
至誠会第二病院 神経内科 宮崎 一秀
- 11-10 パーキンソン病における脳血流パターンと精神症状及び認知機能障害の関連
福岡大学 医学部 神経内科 合馬 慎二
- 11-11 海馬傍回皮質に限局性高密度タウ病変を認めた妄想性うつ病の 1 剖検例
筑波大学大学院 人間総合科学研究科 精神病態医学分野 新井 哲明
- 11-12 嗜銀顆粒性認知症の臨床診断基準の確立
国立精神・神経医療研究センター 齊藤 祐子
- 11-13 前頭側頭型認知症様症状を呈した認知症の一例
八日会 大悟病院 老年期精神疾患センター 井上 輝彦
- 11-14 家族性に脳内石灰化を示した Fahr 病の 1 例
札幌医科大学 神経精神医学講座 小林 清樹
- <血管性認知症（臨床症状）>
- 12-01 CADASIL における認知症の特徴について
熊本大学 大学院 神経内科学分野 内野 誠
- 12-02 頸動脈狭窄が認知機能に及ぼす影響
東京女子医科大学附属成人医学センター 松村美由起
- 12-03 本邦における CADASIL の新しい診断基準について
京都府立医科大学 神経内科 水野 敏樹
- 12-04 内頸動脈狭窄症における Vascular cognitive impairment の検討
埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション科 大沢 愛子

- 12-05 内頸動脈狭窄症における知的能力および記憶について
埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーションセンター 宮崎 泰広
- <血管性認知症（画像，病理，病態）>
- 13-01 ビンスワンガー病とアルツハイマー病における海馬 MRS の違い
滋賀医科大学 MR 医学総合研究センター 椎野 顯彦
- 13-02 Binswanger 型白質病変優位な CADASIL 症例と CADASIL に特異的白質病変優位の CADASIL 症例の臨床像の比較検討
熊本大学 大学院 神経内科 植田 明彦
- 13-03 CADASIL に於ける夜間血圧降下に関する検討
岡山大学 神経内科 高宮 資宜
- 13-04 小脳出血による認知機能障害について
埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション科 前島伸一郎
- <若年性認知症>
- 14-01 進行する認知機能障害と特異な画像所見を呈した 22q11.2 欠失症候群の 28 歳女性例
昭和大学 医学部 内科学講座 神経内科学部門 稗田宗太郎
- 14-02 若年性認知症患者の受診状況～大阪市若年認知症の実態調査からの考察～
大阪市立弘済院附属病院 認知症疾患医療センター 中西 亜紀
- 14-03 もの忘れ外来を受診した若年性認知症患者の特徴
医療法人柏葉会 柏戸病院 柏戸 孝一
- <認知症全般（早期診断，MCI）>
- 15-01 榊原白鳳病院にて実施中の「もの忘れ検診」の紹介（認知症検診の検査項目は妥当か？）
榊原白鳳病院 物忘れ外来 笠間 睦
- 15-02 早期認知機能障害（MCI）診断と認知症遅延治療の早期治療と効果について
医療法人 啓和会 吉野神経内科耳鼻咽喉科アレルギー科医院 吉野 成一
- 15-03 発症早期パーキンソン病の検査入院における認知障害の検討及び診断
済生会横浜市東部病院 脳神経センター 脳血管・神経内科 村松 和浩
- 15-04 軽度認知障害（MCI）における Quality of Life の特徴と関連要因について
愛知学院大学 心身科学部 辰巳 寛
- 15-05 認知機能低下の評価に核医学検査と WAIS-III が有用であった 1 例
帝京大学 医学部 脳神経外科 浅野修一郎
- 15-06 自己記入式認知機能検査（日本版 Test Your Memory）の有用性について
東京医科大学 医学部 老年病科 佐藤 友彦
- 15-07 MCI 症例における日本語版 WMS-R の Logical Memory II の有用性
東京医科歯科大学大学院 脳神経病態学分野 堀 匠
- 15-08 CogHealth computed cognitive test battery で認められた健常中年者における軽微な白質病変の病的意義
高知検診クリニック 脳ドックセンター 朴 啓彰
- 15-09 白内障晶体におけるアミロイド β ペプチドの定量化の可能性—非認知症患者検体での検討
筑波大学 大学院 人間総合化学研究科 疾患制御医学専攻 神経病態医学分野 赤松 恵

15-10 軽度認知機能障害における MoCA-J の有用性

せんば東京高輪病院 神経内科 津本 学

15-11 Mild cognitive impairment 診断の補助となる Mini Mental State Examination のカットオフ値の検討

佐賀大学 医学部 神経内科 薬師寺祐介

15-12 地域における健忘型 MCI の運動機能評価

鳥取大学 医学部 脳神経医科学講座 脳神経内科学分野 植村 佑介

<認知症全般（臨床症状, BPSD）>

16-01 認知症対応型グループホーム入所者の認知症に伴う精神・心理症状に対する薬物介入に関する検討

微風会ビハーラ花の里病院 神経内科 織田 雅也

16-02 重度 BPSD を伴い服薬に難渋する認知症高齢者に対する aripiprazole 内用液の治療有用性

医療法人山口病院（川越） 奥平 智之

16-03 アルツハイマー病における repetitive questioning（繰り返し質問）と脳血流の関連

岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 精神神経病態学教室 岸本 由紀

16-04 アルツハイマー型認知症 (DAT) およびレビー小体型認知症 (DLB) の周辺症状におけるフェルラ酸, ガーデンアンゼリカ化合健康食品<F>の有用性の検討

東京医科大学 八王子医療センター 老年病科 金谷 潔史

16-05 問診票を用いた物忘れ患者層別化の有用性

名古屋第二赤十字病院 神経内科 横井 聡

16-06 介護破綻（高齢者虐待）防止の為に『激しい BPSD への医療の積極的介入』の必要性について一症例報告を通して—

特定医療法人 薫会 烏山台病院 栃木県指定認知症疾患医療センター 精神神経科 大野 篤志

<認知症全般（機能検査, 鑑別診断）>

17-01 認知障害に対する画像補助診断の信憑性

小牧市民病院 脳神経外科 飯塚 宏

17-02 50 歳以上 96 歳までの地域在住健常高齢者 480 名の脳電位解析：MRI 所見と認知機能との関連

株式会社 脳機能研究所 田中美枝子

17-03 認知症高齢者における転倒とハンカチテストとの関係

敬仁会 桔梗ヶ原病院 神経内科 中居 龍平

17-04 介護負担軽減における在宅介護サービスの効果の検討：認知症の高齢者総合機能評価を用いた縦断解析

杏林大学 医学部 高齢医学 山田 如子

17-05 認知症症例に対する標準失語症検査 (SLTA) の検討

杏林大学医学部高齢医学 町田 綾子

17-06 アルツハイマー型認知症 (AD), 前頭側頭型認知症 (FTD), 脳血管性認知症 (VD) の前頭葉機能の比較

杏林大学 医学部 高齢医学 木村紗矢香

17-07 もの忘れ外来を受診する正常認知機能患者の認知機能予後および神経心理学的特徴

名古屋大学大学院 医学系研究科 老年科学 牧野多恵子

<認知症全般（地域連携）>

- 18-01 広島県における認知症対策の現状と課題
 広島大学大学院 地域医療教育センター 宮地 隆史
- 18-02 かかりつけ医，ケアマネジャー，専門外来医師・スタッフの個別症例カンファレンスを通じた認知症診療・ケア地域連携への取り組み
 京都大学医学部加齢医学 武地 一
- 18-03 アルツハイマー病診療における地域連携（第2報）
 医療法人社団弥生会 旭神経内科リハビリテーション病院 旭 俊臣
- 18-04 かかりつけ医の認知症診療の実態調査
 熊本大学医学部附属病院 神経精神科 小嶋誠志郎

<認知症全般（介護，社会医学，高齢者医療）>

- 19-01 高齢入院患者の認知機能は誤嚥に関連する
 東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座 亀山 祐美
- 19-02 認知症疾患治療病棟における院内ディケアー病棟と自宅・施設の架け橋
 天久台病院 精神科 葉室 篤
- 19-03 長崎北病院脳リハビリ外来における家族支援の取り組みと効果について
 長崎北病院 リハビリテーション部 作業療法士 西村 洋子
- 19-04 認知症治療病棟からの退院に関わる予後因子—石川県立高松病院における検討から—
 石川県立高松病院 北村 立
- 19-05 在宅認知症患者の介護者における介護負担感と血液凝固能の関連および有酸素運動の効果による介護負担感の軽減と血液凝固能の変化に関する研究
 名古屋大学大学院 医学系研究科 老年科学 平野 明美
- 19-06 高齢者における転倒の記憶と生活機能との関係
 健康科学大学 健康科学部 作業療法学科 田山 雅世
- 19-07 軽度認知機能障害患者における服薬管理能力の検討
 東北大学病院老年科（東北大学加齢医学研究所老年医学分野） 富田 尚希
- 19-08 「介護老人福祉施設における認知症入所者の新たな一歩，そして“ライフサイクル”への取り組み—其の2—
 社会福祉センター 太陽の里いわき 介護老人福祉施設 ひまわり荘 吉田 信介
- 19-09 認知症介護者教室の効果
 東京医科大学病院 老年病科 櫻井 博文
- 19-10 配偶者の有無による前頭葉機能検査の経時的変化の男女差（伊万里市在住健常高齢者の調査）
 佐賀大学 医学部 附属病院 精神神経科 國武 裕
- 19-11 新しい認知症地域疫学調査の試み
 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 池嶋 千秋
- 19-12 デイサービス施設での非薬物療法～認知トレーニング（計算・音読）と作業療法（図画・工作）による無作為割付単盲検多施設研究
 大阪大学 大学院 医学系研究科 精神医学教室 林 紀行
- 19-13 高齢ドライバーの運転継続意思と認知症の有無との関連
 名古屋大学 精神科 河野 直子

<その他>

- 20-01 新フュージョン画像を用いた認知症スペクトラム解析
 恵寿総合病院 PET-CT・リニアックセンター 角 弘論
- 20-02 特発性正常圧水頭症の発生における脳動脈硬化の関与について
 藤田保健衛生大学 脳神経外科 小栗 大吉
- 20-03 国立長寿医療研究センターでの新たな「もの忘れセンター」—認知症の予防から終末期まで—
 国立長寿医療研究センター 櫻井 孝
- 20-04 抑肝散投与で幻視の顕著な改善がみられたシャルル・ボネ症候群の一例
 神奈川県立病院機構 精神医療センター せりがや病院 渡邊 宏行
- 20-05 鳥根県海士町における特発性正常圧水頭症の有病率調査
 鳥取大学 医学部 脳神経内科 中下 聡子
- 20-06 病理からみた認知症診断
 小山田記念温泉病院 神経内科 森 恵子
- 20-07 慶應義塾大学病院認知症専門外来—メモリークリニック—の現況 ～神経内科—精神神経科合同診療科の試み～
 慶應義塾大学 神経内科 小堺 有史
- 20-08 神経変性疾患患者に認められた特発性正常圧水頭症の画像所見
 国立病院機構大牟田病院 神経内科 渡邊 暁博
- 20-09 特発性正常圧水頭症診断のための定量的画像指標の検討
 杏林大学 医学部 高齢医学 もの忘れセンター 小林 義雄
- 20-10 脳内鉄沈着症の診断における MRI-R2* 計測の意義
 順天堂東京江東高齢者医療センター 脳神経内科 北見真喜子
- 20-11 高齢者における全脳灰白質容積の変化—地域縦断コホート研究から
 筑波大学人間総合科学研究科 田村 昌士
- 20-12 釣藤散、抑肝散加陳皮半夏にて心不全を発症した脳血管性認知症の1例
 杏林大学 医学部 高齢医学・もの忘れセンター 輪千安希子
- 20-13 脳活性化訓練による介入効果の検討
 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 医療情報学科 児玉 直樹
- 20-14 大学病院老年病科入院患者におけるせん妄、体外ルート自己抜去の発症頻度と関連要因
 東京大学 医学部 加齢医学 山口 潔
- 20-15 地域在住高齢者の歩行と認知機能との関連：栗原-大崎プロジェクト
 東北大学大学院高齢者高次脳医学 田中 尚文

基礎系

<AB APP>

- 21-01 Propofol と Thiopental は神経細胞膜からの A β 重合体形成を抑制する
 立命館大学 薬学部 薬学科 山本 直樹
- 21-02 女性ホルモンの β アミロイド線維及びオリゴマー形成抑制作用
 金沢大学大学院 脳老化・神経病態学（神経内科） 森永 章義

- 21-03 Structure-neurotoxicity relationships of amyloid β -protein oligomers
 金沢大学大学院脳老化・神経病態学（神経内科） 小野賢二郎
- 21-04 Enhanced Alzheimer's-like pathology by ACE inhibition in APP transgenic mouse brain
 岩手医科大学 薬学部 神経科学講座 鄒 鶴
- 21-05 細胞接着の亢進は、APP のダイマー化を促進し、Abeta 産生を変化させる
 京都大院 医 人間健康 浅田めぐみ
- 21-06 ビタミンによる A β オリゴマーの形成抑制効果
 金沢大学 大学院 脳老化・神経病態学（神経内科） 高崎 純一
- 21-07 APP 代謝及び A β 産生における ATBF1 (AT-motif binding factor 1) の機能解析
 国立長寿医療研究センター アルツハイマー病研究部 巖 景玉
- 21-08 Abeta 全体を産生する仕組みはアルツハイマー病で加速されているか？ - 患者 CSF を用いた解析 -
 大阪大学大学院・医学系研究科・精神医学教室 大河内正康
- 21-09 APP 分子内に存在する新規 γ -secretase 活性制御領域の同定と解析
 東京大学大学院 薬学系研究科 臨床薬学教室 佐々木朝輝
- 21-10 LIG3 はフロチリン 1 と複合体を形成し APP の細胞内輸送に関与する
 医薬基盤研究所霊長類医科学研究センター 岡林 佐知
- 21-11 γ セクレターゼによる α CTF の切断
 同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科 高見 真子
- 21-12 リポタンパク質リパーゼは初代培養アストロサイトによるアミロイド β の取り込みを促進する
 国立長寿医療研究センター・アルツハイマー病研究部 西辻 和親
- 21-13 アルツハイマーアミロイド前駆体タンパク質細胞内ドメイン (AICD) の蓄積が細胞に与える影響の解析
 財団法人東京都医学研究機構 東京都精神医学総合研究所 亀谷富由樹
- 21-14 カニクイザル脳脊髄液中の APL1 β ペプチドの定量
 大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学 児玉 高志
- 21-15 Subcellular localization and toxicity of intracellular A β oligomers in APP transgenic mice with the E693 Δ (Osaka) mutation
 大阪市立大学大学院 医学研究科 老年医科学大講座 脳神経科学 梅田 知宙
- 21-16 Intracellular A β oligomers cause cell death via ER stress, lysosomal leakage, and mitochondrial dysfunction in cultured cells
 大阪市立大学大学院 医学研究科 脳神経科学 富山 貴美
- 21-17 ネプリライシン活性の低下はグリオシスを増強してアミロイド病理を悪化させる
 独立行政法人理化学研究所 脳科学総合研究センター 神経蛋白制御研究チーム 岩田 修永
- 21-18 アミロイド前駆体蛋白質 (APP) 結合分子 X11 proteins 欠損による痙攣発作発症の分子機構解明
 北海道大学大学院薬学研究院 齋藤 有紀
- 21-19 高感度 A β 抗原賦活法を応用したアルツハイマー病の A β 沈着動態の解明
 東北大学 医学系研究科 附属創生応用医学研究センター 病態神経学分野 甲斐 英朗
- 21-20 神経細胞 endocytosis 障害による GM1 ガングリオシド誘導性アミロイド β 蛋白重合の促進
 国立長寿医療研究センター研究所 湯山 耕平

- 21-21 臨床使用されている薬物 KM2309 の APP 代謝および A β 分解に対する影響
埼玉医大・医・薬理 浅井 将
- 21-22 HMG 還元酵素阻害薬フルバスタチンの A β 代謝作用の解析
大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学教室 篠原 充
- <tau>
- 22-01 Tau タンパク質によるシナプス可塑性制御とそのメカニズム
理化学研究所, 脳科学総合研究センター 木村 哲也
- 22-02 タウ凝集を抑制する低分子化合物の探索
理化学研究所 脳科学総合研究センター アルツハイマー病研究チーム 添田 義行
- 22-03 DNA microarray 解析による神経原線維変化の形成および神経細胞死に關与する因子の解析
弘前大学 医学部 脳神経内科 瓦林 毅
- 22-04 アロキサン投与によるタウ TG マウスの不溶性タウおよび HDAC 減少を介した微小管安定化と記憶改善
理化学研究所 脳科学総合研究センター アルツハイマー病研究チーム 吉池 裕二
- 22-05 RD4 エピトープ内に起こっている翻訳後修飾によるタウの生理機能変化
東京都精神医学総合研究所 分子神経生物学研究チーム 團 彩帆
- 22-06 異常リン酸化タウの Phos-tag SDS-PAGE による解析
首都大学東京 理工学研究科 生命科学専攻 久永 眞市
- 22-07 タウオバチーモデルマウスでは軸索障害がシナプス障害に先行する
順天堂大学 医学部 脳神経内科 本井ゆみ子
- 22-08 モデルマウスを用いたタウ凝集阻害薬, ペプチドワクチンの評価
東京都精神医学総合研究所 分子神経生物学研究チーム 鈴掛 (増田) 雅美
- <presenilin, apoE>
- 23-01 インスリンシグナルの破綻がプレセニリン 1 に与える影響
京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学 前迫 真人
- 23-02 ϵ 切断からみた γ セクレターゼ修飾薬の作用点
大阪大学 大学院 医学系研究科 精神医学 森 康治
- 23-03 γ セクレターゼモジュレーター GSM-1 はプレセニリン N 末端断片を標的とする
東京大学大学院 薬学系研究科 臨床薬学教室 富田 泰輔
- 23-04 γ -secretase 活性中心サブユニット Presenilin1 の第 4 膜貫通領域の構造解析
東京大学大学院 薬学系研究科 臨床薬学教室 富永 綾
- 23-05 抗ニカストリン一本鎖抗体の性状解析
東京大学大学院 薬学系研究科 臨床薬学教室 福田磨育子
- 23-06 γ セクレターゼによる Alcadin 切断機構
北海道大学 生命科学院 生命医薬科学コース 神経科学研究室 朴 懿
- 23-07 APLP2 は Presenilin1 FAD mutant によって β APP や APLP1 と異なる切断を受ける
大阪大学大学院 医学系研究科 内科系臨床医学専攻 情報統合医学講座 精神医学分野 柳田 寛太
- 23-08 Presenilin 単独での γ セクレターゼ活性の再構成の試み
東京大学大学院 薬学系研究科 臨床薬学教室 豊川 佳祐

<TDP-43, Notch, synuclein>

- 24-01 TDP-43 proteinopathy に認める TDP-43 蛋白 C 末断片に関する検討
筑波大学 臨床医学系 神経内科 辻 浩史
- 24-02 CADASIL 変異を導入した Notch3 安定発現細胞の作成と Notch3 タンパク質分解の検討
京都府立医科大学 神経内科 細見 明子
- 24-03 TDP-43 凝集体形成による神経細胞毒性の誘導
東京都医学研究機構 東京都精神医学総合研究所 分子神経生物学研究チーム 山下万貴子
- 24-04 ALS 関連変異による TDP-43 のリン酸化の促進
国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 荒木 互
- 24-05 培養細胞モデルを用いた TDP-43 凝集阻害剤の探索
東京都精神医学総合研究所 分子神経生物学チーム 熊田 誠

<新規関連蛋白質・遺伝子>

- 25-01 Alcadin の γ セクレターゼ代謝産物 p3-A β の血中からの抽出と定量
大学院 今野 禎子
- 25-02 死後脳におけるアルツハイマー病関連遺伝子の発現プロファイリング
新潟大学脳研究所 宮下 哲典
- 25-03 アルツハイマー病脳組織における *SORL1* の遺伝子発現解析
新潟大学脳研究所 温 雅楠
- 25-04 異なる背景遺伝子を持つ APP Tg マウスの解析によるアミロイド蓄積量修飾遺伝子 *KLC1* の同定
大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学 横小路美貴子
- 25-05 脳の老化に関わる老化誘導分泌因子 Esophageal cancer-related gene 4 (Ecr4)
慶應義塾大学 医学部 神経内科 久住呂友紀
- 25-06 本邦における FTLD-FUS 症例の検討
東京都精神医学総合研究所 認知症プロジェクト 小林 禪

<病態モデル動物>

- 26-01 アルツハイマー病病態形成における A β 43 の役割
理化学研究所 脳科学総合研究センター 齊藤 貴志
- 26-02 多価不飽和脂肪酸餌は LPS で誘導される脳内炎症を抑制する
日本大学 生物資源科学部 生命化学科 細野 崇
- 26-03 慢性脳低灌流はアルツハイマー病変化を加速する
京都大学 医学研究科 臨床神経学 山田 真人
- 26-04 Tg2576 マウスにおける抗 A β 抗体投与の血中 A β 量への影響とアルツハイマー病治療の可能性の検討
株式会社 免疫生物研究所 堀越 (櫻庭) 優子
- 26-05 アルツハイマー病モデルマウス脳内に発現するヘパラン硫酸糖鎖の内部ドメイン構造の解析
国立長寿医療研究センター 細野 友美
- 26-06 変異型タウ (L266V) トランスジェニックマウスにおける微小管関連機能の評価
順天堂大学 医学部 脳神経内科 神戸 泰紀
- 26-07 糖尿病合併アルツハイマー病モデルマウスにおける脳血管病態と脳内インスリンシグナルの変化
大阪大学医学系研究科臨床遺伝子治療学 武田 朱公

- 26-08 アメロイドコンストラクターを用いた新規ラット皮質下血管性認知症モデルの作成
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座臨床神経学 北村 彰浩
- <治療薬等開発>
- 27-01 Tannic acid (植物由来ポリフェノール) の脳アミロイド症抑制効果
埼玉医科大学総合医療センター 研究部 森 隆
- 27-02 クルクミン系化合物のケト・エノール互変異性とアミロイド親和性
滋賀医科大学 分子神経科学研究センター 柳沢大治郎
- 27-03 血管性認知症モデルマウスの認知機能障害および白質障害に対するテルミサルタンの効果
京都大学大学院医学研究科臨床神経学 鷺田 和夫
- 27-04 ヒト変異 Notch3 重合体の分解促進剤のスクリーニング
独立行政法人 国立長寿医療研究センター 加齢健康脳科学研究部 渡邊 淳
- 27-05 マイネルト基底核破壊ラットの攻撃性に対する抑肝散の効果
株式会社ツムラ ツムラ研究所 田淵 雅宏
- 27-06 抑肝散アルカロイド成分・ガイソシジンメチルエーテルの血液および脳内検出と血液脳関門透過性
株式会社ツムラ ツムラ研究所 今村 幸子
- 27-07 血管性認知症モデルマウスを用いた抗 E-selectin 抗体による治療法の有効性の検討
(独) 国立長寿医療研究センター 加齢健康脳科学研究部 足立 香代
- 27-08 マウス血管性認知症モデルに対する Sialyl Lewis X 結合リポソームの有効性の検討
独立行政法人 国立長寿医療研究センター 加齢健康脳科学研究部 脇田 英明
- 27-09 アポモルフィンの抗 AD 作用と細胞内 A β 分解促進メカニズム
九州大学 医学部 神経内科 大八木保政
- 27-10 アミロイド β の毒性ターン構造特異的抗体
京都大学 農学研究科 食品生物科学専攻 村上 一馬
- 27-11 A β 重合体制御によるタウオパチー発症予防の検証
弘前大学大学院医学研究科 脳神経内科学講座 高村 歩美
- 27-12 新規 SINGLE PHOTON EMISSION TOMOGRAPHY (SPECT) 用アミロイドイメージング剤としてのイミダゾピリジン誘導体
富士フイルム RI ファーマ (株) 研究部 坂東 和則
- <その他>
- 28-01 海馬歯状回よりの苔状線維終末 (海馬透明層) における 14-3-3 蛋白 Epsilon isoform の特異的発現—発生学より再生医療へ—
東京医科大学 老年病科 馬原 孝彦
- 28-02 コンドロイチン硫酸プロテオグリカンの脳内発現および神経幹/前駆細胞に与える老化の影響と漢方薬, 抑肝散の効果
株式会社ツムラ ツムラ研究所 溝口 和臣
- 28-03 APP 輸送において働く分子: JIP1b と KLC の結合機構の詳細
北海道大学大学院 薬学研究院 神経科学研究室 千葉 杏子
- 28-04 Dynein の機能障害は神経突起の腫大化を引き起こし, kinesin によるシナプス小胞輸送を阻害する
医薬基盤研究所・霊長類医学研究センター 木村 展之

- 28-05 アポトーシス阻害蛋白 XIAP の PKC によるリン酸化を介した細胞死抑制メカニズムの解析
大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学教室 加藤希世子
- 28-06 家族性パーキンソン病責任遺伝子産物 LRRK2 の新規基質探索
東京大学 大学院 薬学系研究科 臨床薬学 新留 一樹
- 28-07 海馬オリゴデンドロサイト分化とアルツハイマー病
東京都精神医学総合研究所 統合失調症・うつ病プロジェクト 気分障害研究チーム 楯林 義孝

【共催企画】

ランチョンセミナー 1

11月5日（金） 12時10分～13時10分（第2会場 5F 小ホール1）

座長：西澤 正豊（新潟大学脳研究所 臨床神経科学部門神経内科学分野）

血管性認知症の新たな治療戦略時漢方医学からの視点

秋田県立脳血管研究センター神経内科 長田 乾

共催：株式会社ツムラ

ランチョンセミナー 2

11月5日（金） 12時10分～13時10分（第3会場 5F 小ホール2）

座長：道勇 学（愛知医科大学病院 神経内科）

認知症を支える地域連携の取り組み

—認知症疾患医療センターの立場から—

砂川市立病院 精神神経科 内海久美子

共催：日本脳神経核医学研究会／富士フィルム RI ファーマ株式会社

ランチョンセミナー 3

11月6日（土） 12時10分～13時10分（第2会場 5F 小ホール1）

座長：大内 尉義（東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座）

生活習慣病と認知機能障害時老年医学的立場から

千葉大学大学院医学研究院細胞治療内科学／糖尿病・代謝・内分泌内科 横手幸太郎

共催：ノバルティスファーマ株式会社

ランチョンセミナー 4

11月6日（土） 12時10分～13時10分（第3会場 5F 小ホール2）

座長：岡本 幸市（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）

認知症から見た転倒，転倒から見た認知症

国立長寿医療研究センター 鳥羽 研二

共催：ヤンセンファーマ株式会社／武田薬品工業株式会社

ランチョンセミナー 5

11月7日（日） 12時10分～13時10分（第2・3会場 5F 小ホール1・2）

座長：岩坪 威（東京大学大学院医学系研究科 脳神経医学専攻 神経病理学分野）

アルツハイマー病治療薬の最前線

信州大学医学部精神医学講座 天野 直二

共催：ファイザー株式会社

イブニングセミナー 1

11月6日(土) 18時10分～19時10分(第2会場 5F 小ホール1)

座長: 玉岡 晃(筑波大学臨床医学系 神経内科)

糖尿病とアルツハイマー病

東京医科大学 老年病科 羽生 春夫

共催: エーザイ株式会社/ファイザー株式会社

イブニングセミナー 2

11月6日(土) 18時10分～19時10分(第3会場 5F 小ホール2)

座長: 祖父江 元(名古屋大学大学院医学系 研究科)

認知症の早期診断・鑑別診断の意義と重要性-SPECTの果たす役割について-

熊本大学医学部附属病院神経精神科 橋本 衛

共催: 日本脳神経核医学研究会/日本メジフィジックス株式会社

スポンサードシンポジウム「若年性認知症の生活機能障害と脳内メカニズム」

11月7日(日) 13時30分～16時00分(第2会場 5F 小ホール1)

座長: 石合 純夫(札幌医科大学医学部 リハビリテーション医学)

筑波大学 臨床医学系精神医学 朝田 隆

1. 認知症性疾患の行為障害(広義)の特徴とそのメカニズム

宮城県立精神医療センター 香山 明美

2. 若年性認知症に対するリハビリテーションの現状と課題

北海道医療大学 看護福祉学部 中川 賀嗣

3. 若年性認知症の就労支援について

障害者職業総合センター 田谷 勝夫

共催: ヤンセンファーマ株式会社